



7



1



2



3



8

朝倉摂の素描

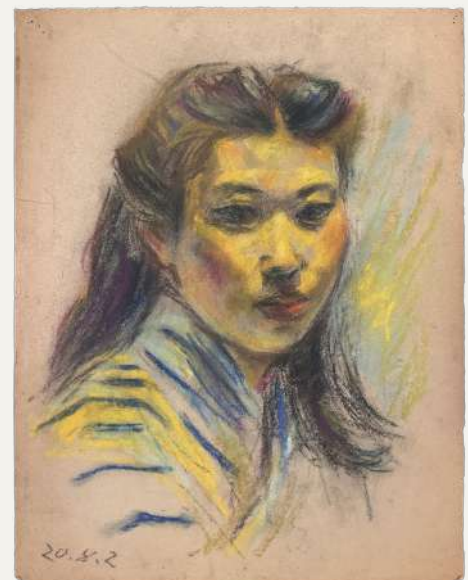
— 1950年代を中心に —



4



5



6

1. [《男》(佐藤忠良)のデッサン] 1951年 / 2. [銚子] 1955年頃 / 3. [工場] 1956年頃 / 4. [お菓子工場] 1955年 / 5. [猫] 1950年頃 / 6. [肖像(朝倉響子)] 1945年8月2日 / 7. [倒立する人物] 1957年頃 / 8. [《閉ざされた部屋》の下絵] 1957年
すべて実践女子大学香雪記念資料館所蔵

2026 9.26 (土) — 11.23 (月・祝)

開館時間 10:30 ~ 17:00

休館日 日曜日、11月6日(金) ~ 11月9日(月)

※9月27日(日)は開館

観覧料 無料

会場 実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室1・2

主催 実践女子大学香雪記念資料館

実践女子大学香雪記念資料館
Kosetsu Memorial Museum Jissen Women's University



<https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>

〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49
実践女子大学渋谷キャンパス 1階



1



2



3



4

当館では朝倉摂（1922-2014）の没後にご寄贈いただいたことを機に、2017 年に「朝倉摂〈リアルの自覚〉」展を開催し、1940 年代から 60 年代までの絵画、素描、舞台美術のための下絵、絵本原画によって初めて朝倉の画業を総合的に示しました。

今回は、その後寄贈された多数のスケッチブックなどの素描を展示します。朝倉摂の父は著名な彫刻家朝倉文夫、妹の響子も彫刻家として活躍しました。恵まれた環境のなかで早くから絵を学び、17 歳で伊東深水に入門しますが、戦後は日本画、洋画にこだわらず常に新たな表現に取り組みました。朝倉にとって 1950 年代は飛躍の時代でした。50 年に北荘画廊で初個展を開き、創造美術で奨励賞を受賞。50 年代中頃には佐藤忠良、森芳雄、中谷泰など男性画家、彫刻家と 6 人で炭鉱、漁村、農村をまわる写生旅行を繰り返し、人々が生きる現実を表現しようと切磋琢磨しました。代々木に家建て、自活のために工場などで働く人々に取材する仕事をしたり、雑誌の表紙やイラストを描いたりしましたが、これらでは印刷を意識して簡略な線で対象を掴み取る工夫をしています。朝倉は変貌していく都会にも眼を向け、戦後の社会の歪みを告発する大作を発表します。朝倉は自作を残すという意志をあまり持っていなかったようで、失われた作品も多いのですが、今回展示する素描は、朝倉が当時制作にこめていた熱き想いを生き生きと伝えてくれるでしょう。

1. [《おんな》の下絵] 1955 年頃／2. [《写生旅行 バスの中》] 1950 年代中頃／3. [《沙上》の下絵] 1946 年 8 月 19 日／4. [《男性像（刑務所にて）》] 1950 年代／5. [《自転車》] 1953 年頃／6. [《街の風景 東光ストア》] 1957 年頃／7. [《縫製工場》] 1955 年頃／8. [《共産党集会》] 1950 年代／9. [《修画帖》] 1939 年頃／10. [《婦人像》の下絵] 1955 年／11. [《スタイル画》] 1950 年代

※すべて実践女子大学香雪記念資料館所蔵

朝倉摂の素描 — 1950 年代を中心に —



5



6



7



8



9



10



11

【同時開催】

下田歌子記念室 「所蔵品による特集展示Ⅱ—秋を描く—」

<会期> 2026 年 9 月 26 日（土）～ 11 月 23 日（月・祝）

【アクセス】

JR／東京メトロ／東急／京王「渋谷駅」東口 C1 出口から徒歩約 10 分
東京メトロ「表参道駅」B1 出口から徒歩約 12 分

※当館は、実践女子大学渋谷キャンパスの 1 階ロビー奥に位置します。
駐車場・駐輪場はありません。ご来館の際は公共の交通機関をご利用ください。また、六本木通り沿いにある正面入口右手の警備室へ入館の旨をお伝えください。

※やむを得ず会期や開館時間を変更する場合がございます。
最新情報は当館ホームページをご確認ください。



<https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>
〒150-8538 東京都渋谷区東 1-1-49
実践女子大学渋谷キャンパス 1 階

実践女子大学香雪記念資料館
Kosetsu Memorial Museum Jissen Women's University